

平成21年10月15日

各位

会社名 荒川化学工業株式会社
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者名 取締役社長 末村 長弘
(コード番号 4968 東証第一部、大証第一部)
問合せ先 取締役経営企画室長 谷奥 勝三
TEL (06) 6209-8500(代表)

超淡色ロジン生産設備新設に関するお知らせ

当社は、基盤事業の拡大を目指し、小名浜工場（福島県いわき市）に超淡色ロジンの生産設備を新設することを決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 経緯

荒川化学グループは、第2次中期5ヵ年経営計画（平成20年4月～平成25年3月）において「基盤事業のさらなる拡大」を基本方針の一つとして掲げております。当社の基盤事業では、事業の継続的な発展・拡大に向けた施策の一つとして、高付加価値製品である超淡色ロジンの拡販を積極的に推進しております。

当社は明治9年の創業以来130年を超える永きにわたり、ロジン（松脂）関連化学製品（製紙用薬品、印刷インキ・塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤等）の製造・販売をおこなってまいりました。また、昭和45年には、高圧水素化技術の応用により、無色透明な水素化石油樹脂「アルコン」（粘着・接着剤用樹脂、プラスチック用添加剤等）を世界で初めて上市いたしました。

ロジンの淡色化に対するニーズは古くからありましたが、黄色が残ることが技術的に解決困難でした。当社はそのニーズに応えるべく、それまで培ってきたコア技術である「ロジン関連技術」と「高圧水素化技術」を融合させ、平成元年に無色透明とも言える超淡色ロジンを世界で初めて上市いたしました。超淡色ロジンは、不純物が少なく熱などに対して安定である等の優れた特長を有しており、医療用粘着剤や鉛フリーはんだ用フラックス、プラスチック用添加剤等の付加価値の高い分野で使用され、順調に需要が増加しております。

この度、今後の超淡色ロジンの需要増加に対応するとともに、基盤事業の拡大を目指して、小名浜工場に超淡色ロジンの生産設備を新設することを決定いたしました。

2. 設備概要

投資金額 : 約30億円
生産能力 : 約2,500トン/年
生産品目 : 超淡色ロジン
場 所 : 荒川化学工業株式会社 小名浜工場
(福島県いわき市泉町下川字大劔399番地の5)
敷地面積 : 4,450m²
着工予定 : 平成22年(2010)7月
完工予定 : 平成23年(2011)6月
反応設備 : バッチ式高圧反応設備1系列

以上